

# 清流 ニュース

発行所

清流寺  
清流ニュース編集室

<http://seiryuji.jp.org/>

令和7年度総祈願

本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加  
日鏡上人五ヶ年報恩御奉公・御七回忌前年の年  
寺内・境内整備ご有志継続・一口奉納御奉公推進  
御利益談を語る信徒の育成・御講願主・御会式参詣者増加  
お助行・御法門聴聞励行・御奉公内容充実・教講一同二利益感得

二月の御総講日

一日 九時半 御修行日

七日 十時 パースデー総講

十三日 十時 高祖御命日

十七日 九時半 開導御命日

於 清流寺

十二日 十時 高祖御速夜

十六日 九時半 開導御速夜

廿八日 十時 歡尊御命日

晨尊御命日

於 羽村別院

特別行事

廿三日 門祖日隆聖人

御開山会式

晴天祈願

十六日〜廿二日迄

第一座 六時〜七時半

第二座 九時半〜十時半

会議

一日 御総講後 役中会議

十六日 一時 参事会

## 寒参詣交流

本年度の東京中央布教区の寒参詣交流は、久遠寺さんとの組み合わせとなり、二月二日の第二座に久遠寺さんより激励参詣をいただきますので大勢の参詣でお迎えいたします。

2月23日

10時30分

## 門祖日隆大聖人御開山会式

奉修導師 当山住職

長谷川清泊 化主

家族そろってお参詣しよう

来る廿三日(日) 十時三十分開式にて、本年度の門祖会が奉修されます。奉修導師は、当山住職・長谷川日旭化主です。さて、門祖日隆大聖人

は、南北朝時代の至徳二年(一三八五)十月十四日にご誕生され、長じて、伯父である、日存上人、日道上人をたよりに京都・本心寺(本能寺)に入寺されました。

高祖大士のみ教えを忠実に護り、法華経本門八品の教えを弘められ、ご生涯に、なんと十一ヶ寺を建立されるなど法華経の現証ご利益を顕わしてのご弘通をされたお方です。当宗は、蓮・隆・扇三祖一轍の教えと申し、高祖日蓮大士の教えを門祖聖人が承継され、開導聖人は門祖聖人の教えを継承されました。このように、法華経本門八品の教えが脈々と継承さ

れ、現在に至っております。殊に、門祖聖人は、お祖師さまご入滅後、日蓮門下にお祖師さまの教えを勝手に解釈したために、高祖のご本意が見失なわれそうになったところを、もとの正しく、清い教えにもどされました。又、門祖聖人は、ご生涯に三千余帳という膨大な著述も残され、弟子教育にもご尽力されました。開導聖人は、門祖聖人のご法蹟からご教歌  
此君のいまさざりせば  
遠つおやの  
清きながれを  
誰かくままし  
とお詠みになられ称讃されました。本年最初のお会式で、寺

内奉修ですが、門祖聖人への報恩の誠をささげるべく、一人でも多くのお参詣に精進いたしました。又、御会式前週準備ご奉公は、今回は、十七日の開導聖人御命終了後にさせていただきますことになりましたので、よろしくご披露願います。

令和七年度 受持発表

立川・国立・武蔵野 乗学

東村山・昭島 序典

八王子南北・京王・西多摩・QLD 序説

元八王子・八王子西・八王子東 序開

## 宗風について

ありがとうございます。昨年は、門祖日隆聖人の教え「十二宗名」を学びました。が本年は、本門佛立宗の「宗風」を勉強させていただき、この宗風を身につけていただくことが大事です。

宗風とは、今から約、五十年程前の、高祖日蓮大士七百回御遠諱の折り、いわゆる七諱きりかえ運動が提唱され、本門佛立宗の宗綱の、みなおしながされ、その宗綱の第十三条にこの「宗風」が掲げられました。

折伏する。決定 初心は縁に紛動せられて正業を修するを妨げんことを畏る。と、み教えにあり、悪世末法の求法の道に迷惑せぬように用心し、妙法に一心帰依して現証利益により信心を固め、決定無有疑の素懐に住する。

喜捨 器となる。徳虚空に及び十方に周しのみ教えに則り、磨けば光を増す喜捨の行に徹し、我執を超え、労をいとわね信心前を練磨する。

め、菩薩心を涵養する日常の修行に励む。異体同心 宗門人は、異体同心のけいこを常に心がけ、家庭内の信心増進と、役中の結束、僧俗一体の本旨を発揮し、弘通の大願成就につとめる。浄・佛国土 宗門人は、世法の推移を凝視し、現代科学への対応、社会との協調をはかり、浄・佛国土の精神を体し、回向心を発揚して、恒久平和を祈願する。

## 止悪

「阿責謗法当宗持戒」(阿責謗法は当宗の持戒なり)の教誡により、世・出の両面にわたる防非止悪の行につとめ、習

## 精進

「佛立講は開化第一」の精神に基づき、精進は修行の要諦、懈怠は謗法の悪縁と思慮して、世・出の両面にわたり改良進歩上の道を積極的にあゆみ、弘通の発展に寄与する法

## 懺悔

「懺悔は起信のすがた也」のみ教えを体し、妙講一座の要文に示され、看経勤行によつて常に心を清浄にし、改良と信心向上につとめ、経力佛力を蒙る滅罪生善の口唱行に励む、

## 日常修行

宗門人は、朝夕の看経を怠らず、教化、参詣、助行に努